



EC スチューデント・アンバサダー制度

習った英語を実践に生かし、ECで活躍できるスチューデント・アンバサダー制度。ECサンフランシスコ校、バンクーバー校の日本人アンバサダーに、アンバサダーになったきっかけ、活動から学んでいること、留学を考え中の学生さんへのメッセージ等を聞いてみました。留学中に自分を変えた、語学だけでない留学を実現したお2人のECストーリーです。

ECサンフランシスコ : コミネミサさん(20歳)

新しく始まる生活に期待と不安で押しつぶされそうなEC登校初日、Welcome walkに参加した際にサンフランシスコのことを案内してくれたのがStudent Ambassadorの先輩方でした。堂々と新生主に英語で説明してくれたり、入学当初で全く英語が分からなかったにもかかわらず、ゆっくりと私が理解しやすいように話しかけてくれた先輩方の姿に感動し、いつしか私も挑戦できたらいいなと思っていました。もともと内気な性格で人前で自分を表現するのが苦手だったことに加え、自分の英語に全く自信もなかったこともあり最初はためらいましたが、留学中にそんな自分を変えたいとの思いが強くなり、High-intermediateに進級したことを機に思い切ってApplyしました。

私たちStudent Ambassadorは、毎週月曜日の新生主オリエンテーション時に簡単な自己紹介と、AmbassadorやWelcome walk、アクティビティーなどについて紹介しています。放課後にはWelcome walkを実施し、一時間くらいかけてEC周辺Down Townの見どころや知っておくべき情報などを新生主に共有しています。また、月に何回か自分のアクティビティーを持つ機会があり、希望者を募ってサンフランシスコの有名な場所(Museumなど)への訪問やイベントへの参加、生徒同士の友情を深めるためにレストランでお食事会をするなど、様々なアクティビティーのリーダーとして活動させていただいています。

私の場合英語を人前で話すことに抵抗を感じなくなったこと、英語力の向上が大きいと思います。先ほども申し上げた通り、留学に来る前は母国語である日本語ですら人前で話す際に緊張するほど内気な人間でした。Ambassadorになりたてのころは何をするにも空回りして上手く行かず、悩んだことも多々ありましたが、Ambassadorの仲間達のフォローや先生方の厚いサポートのおかげもあり、今では心から楽しんAmbassadorとして活動させていただいています。毎週の活動を通して人前で話す際に緊張することも少なくなり、生徒のお手本になるという責任感からか、英語を学ぶことに対してのモチベーションも確実にあがりました。先生方や生徒との距離も以前と比べて格段に近くなったと思います。Ambassadorとしての役割なしでの生活は想像できないくらいに自分の仕事に誇りを感じ、今ではECが大好きです。

ECバンクーバー : ナカムラユミさん(20歳)

きっかけは友達と学校で映画をみようかと企画していたところに学校スタッフのKJから声をかけてもらったのが始まりでした。初めはどんなことをするのかイメージがわからなかったのですが、友達や先生との会話以外で英語を使う機会がふえるいいチャンスだと思い、アンバサダーになりました。アンバサダーとして活動していることは、主に、毎週入ってくる新生主に自己紹介と卒業していく生徒のための卒業式を盛りあげること、放課後や週末にアクティビティーを企画することなどです。そして今は生徒だれでも参加できて新しい友達づくりのきっかけにもなるウィークリーランチを企画しているところです。

同じアンバサダーには様々な国籍、個性を持った人がいます。そして週2回あるミーティングはもちろん、英語。初めのうちは周りの英語を聞くのに精一杯で自分の考えをその場ですぐ言えないなど、授業の時とは違う難しさを感じていましたが、しばらく一緒に活動していかで今度は個人々々の性格がぶつかり合っとうまく企画がすすめられないなど、アンバサダーになってからは常に何かに悩んでいるような感じでした。何度か、アンバサダーをやめたいとまで思うこともありましたが、しかし、悩んでいるうちにいつの間にか英語のことについてはなく、いかにグループ内で意見をまとめていくか、そのために自分は何をしたらいいのかということを考えるようになっていました。こういうところは、日本だろうと海外だろうと変わらないんだなあと感じます。そして英語を使う機会を増やすという当初の目的以上に、自分の意見をはっきりと伝えることや、自分と違った考えを持つ人の受け止め方というもの勉強してきたように思います。

私は、カナダへ来る前までは英語で勉強をする、友達をつくる、といったことしか考えていませんでした。まさかアンバサダーになって企画を作ったりメンバーのことについて悩んだりする日々が来るとは思っていませんでした。けど今思うのは、もっとはやくにアンバサダーになっていればよかった！ということです。学校での勉強や友達とどこかへ遊びに行くのももちろん楽しいし、英語の勉強ですが、日常生活とちょっと違ったことにチャレンジすることでより英語に触れる機会が増えるし、新しい友達にも会えます。せっかく海外にきて英語を勉強しようとするなら、学校の授業だけでなく、例えばボランティアなど、ちょっと新しいことにも挑戦してみたいはかがでしようか。

(学校担当スタッフのケリーと)



(卒業式イベントで。学校スタッフ、卒業生、同僚アンバサダーと記念撮影)

